

平成31年3月29日

報道機関各位

危機管理局原子力安全対策課長

再処理工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、低レベル放射性
廃棄物埋設センター、東通原子力発電所に関する報告について

日本原燃（株）及び東北電力（株）から安全協定に基づく報告がなされたので、別紙
のとおりお知らせします。

○再処理工場

- ・使用済燃料の受入れ量、再処理量及び在庫量並びに製品の生産量計画報告書
（平成31年度）

○高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

- ・廃棄物（ガラス固化体）受入れ・管理数量計画報告書（平成31年度）

○低レベル放射性廃棄物埋設センター

- ・廃棄物受入れ・埋設計画報告書（平成31年度）

○東通原子力発電所

- ・運転計画書（平成31年度）

報道機関用提供資料（連絡先）	
担当課	危機管理局原子力安全対策課 課長代理 三上浩昭
電話番号	(内線) 6487
	(直通) 017-734-9253
報道監	危機管理局 松野次長

使用済燃料の受入れ量、再処理量及び在庫量並びに製品の生産量計画報告書

2018再計発第408号

平成31年3月29日

青森県知事

三村 申吾 殿

日本原燃株式会社

代表取締役社長 社長執行役員

増田 尚宏

六ヶ所再処理工場における使用済燃料の受入れ及び貯蔵並びにアクティブ試験に伴う使用済燃料等の取扱いに当たっての周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第11条第1項の規定に基づく細則第6条の使用済燃料の受入れ量、再処理量及び在庫量並びに製品の生産量（計画）を別紙のとおり報告します。

平成31年度使用済燃料受入れ量、再処理量及び在庫量並びに製品の生産量（計画）

（使用済燃料）

		受入れ量		再処理量		在庫量（年度末）	
		体数	ウラン量(トンU)	体数	ウラン量(トンU)	体数	ウラン量(トンU)
PWR 燃料	本年度	0	0	0	0	3,486	約1,484
	累計	3,942	約1,690	456	約206		
BWR 燃料	本年度	0	0	0	0	8,583	約1,484
	累計	9,829	約1,703	1,246	約219		
合計	本年度	0	0	0	0	12,069	約2,968
	累計	13,771	約3,393	1,702	約425		

（製品）

	生産量	
	ウラン製品	プルトニウム製品
本年度	0トンU	0kg
累計	約366トンU	約6,658kg

（使用済燃料受入時期等）

受入時期	受入れ数量	輸送容器型式・基数	搬出元
第1四半期	—	—	—
第2四半期	—	—	—
第3四半期	—	—	—
第4四半期	—	—	—

（注1）使用済燃料のウラン量は、照射前金属ウラン質量換算とする。

（注2）ウラン製品量は、ウラン酸化物製品の金属ウランの質量換算とする。なお、ウラン試験に用いた金属ウラン(51.7tU)は、ウラン製品には含めていない。

（注3）プルトニウム製品量は、ウラン・プルトニウム混合酸化物の金属ウラン及び金属プルトニウムの合計質量換算とする。

廃棄物（ガラス固化体）受入れ・管理数量計画報告書

2018再計発第415号
平成31年3月29日

青森県知事
三村 申吾 殿

日本原燃株式会社
代表取締役社長 社長執行役員
増田 尚宏

六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター周辺地域の安全確保及び環境保全
に関する協定第11条第1項の規定に基づく細則第5条の廃棄物受入れ・管理数量
計画について別紙のとおり報告します。

平成31年度 廃棄物（ガラス固化体）受入れ・管理数量計画

	上半期	下半期	年度計
ガラス固化体受入れ数量（本）	0	0	0
ガラス固化体管理数量（本）	0	0	0
前年度までの累積管理数量（本）	1,830		
(備考)			

廃棄物受入れ・埋設計画報告書

2018埋計発第303号
平成31年3月29日

青森県知事
三村 申吾 殿

日本原燃株式会社
代表取締役社長 社長執行役員
増田 尚宏

六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第11条第1項の規定に基づく細則第5条の廃棄物受入れ・埋設計画について別紙のとおり報告します。

以 上

平成31年度廃棄物受入れ・埋設計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計	年度総計
上 期	受入 数量 (本)			(第1回) 1,704	(第2回) 354			2,058	受入数量 9,818
	埋設 数量 (本)	1,600	200	1,800	120			3,720	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計	
下 期	受入 数量 (本)	(第3回) 1,400 (第4回) 384		(第5回) 976		(第6回) 1,720 (第7回) 832	(第8回) 1,136 (第9回) 1,312	7,760	
	埋設 数量 (本)		1,800	1,440	712	368	1,800	6,120	
備 考	<p>・前年度末累積受入数量:305,561本、前年度末累積埋設数量:302,699本。</p> <p>・悪天候等により、廃棄物受入れおよび埋設の時期、数量が変更になることがある。</p>								

(受入時期等)

受入時期	受入れ数量	輸送容器型式・容器数	搬 出 元
6 月	1,704 本	LLW-2型 213 個	関西電力(株)大飯発電所
7 月	354 本	LLW-2型 45 個	四国電力(株)伊方発電所
10 月	1,400 本	LLW-2型 175 個	関西電力(株)美浜発電所
10 月	384 本	LLW-2型 48 個	中国電力(株)島根原子力発電所
12 月	776 本	LLW-2型 97 個	関西電力(株)大飯発電所
	200 本	LLW-2型 25 個	関西電力(株)美浜発電所
2 月	1,720 本	LLW-2型 215 個	九州電力(株)玄海原子力発電所
2 月	832 本	LLW-2型 104 個	日本原子力発電(株)東海第二発電所
3 月	1,136 本	LLW-2型 142 個	関西電力(株)高浜発電所
3 月	40 本	LLW-2型 5 個	中国電力(株)島根原子力発電所
	1,272 本	LLW-2型 159 個	東京電力HD(株)柏崎刈羽原子力発電所

運 転 計 画 書
(平成31年度 [2019年度])

平成31年 3月29日

青森県知事 三村 申吾 殿

東 北 電 力 株 式 会 社
取締役社長 社長執行役員
原 田 宏 哉

東通原子力発電所周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第10条第1項に基づく
運転計画について別紙のとおり報告します。

以 上

平成31年度（2019年度）東通原子力発電所1号機 運転計画

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
運 転 期 間														
停 止 期 間 ^{*1}				} 未定										第4回定期検査 ^注 (平成23年2月6日より停止中)
核燃料物質 使用計画	取替量 ^{*2}	体	0											
	全 量 ^{*3}	体	0											

*1 停止期間 : 発電機解列（発電停止）から並列（発電開始）までの期間

*2 取 替 量 : 当該年度に取替に伴って炉内へ装荷する燃料体数

*3 全 量 : 炉内に装荷されている燃料体数

注：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により運転再開の目処が立たないことから、平成31年度（2019年度）の運転計画は「未定」とし、計画が決定次第再提出する。